

令和4年度 自然保育推進事業 活動報告書

社会福祉法人MONDEN会 ゆめはうす認定こども園

令和4年度の活動の概要

コロナ禍における子どもの自然体験の確保

昨年同様コロナ禍により活動に様々な制限がかかる中、身近な環境に目を向けなおす機会が増えました。

昨年から園庭の一角を畑にして菜園活動を取り入れています。季節によって大根、ジャガイモ等定番の野菜を作っています。今年度は昨年植えた玉ねぎについて展開していった保育を紹介します。

5月たくさん収穫できました。

自園の周りは住宅街で、普段なかなか菜園活動をする機会がない子ども達は大きな玉ねぎが採れるたびに大喜びでした。





採れた玉ねぎを使って後日、スープを作る事にしました。

玉ねぎの皮を剥くところから・・・

ちなみに、皮を剥いている女の子の髪の毛の結び方は玉ねぎをイメージしてのこと

皮を剥いた玉ねぎのピカピカの実を見てそれだけで子ども達は大喜び。友達と見せ合い自然と気持ちを共有しています。

互いの玉ねぎを持って「乾杯」の掛け声子どもらしさがとても可愛く感じます。

味付けは子ども達の大好きなコンソメ味



味のほうは表情を見ればすぐに分かります。



野菜が苦手な A ちゃん・・・
小さめの玉ねぎの器をチョイス



しかし、食べ終わるとおかわりに行き栄養士の先生と見つめ合う・・・♡
美味しかったようですね♪



さらに、後日玉ねぎを剥いた時の皮を取っておいて色を煮出してハンカチ染めをしました。



模様をつけるためにビー玉を輪ゴムで縛りつけます。作業も友達と一緒にすることや、どんな模様になるかイメージしながらする事でワクワクになっていきます。



この時、手を怪我していた友達が難しそうにしているのを見て手伝う姿がありました。

活動の中で目的もありますが、1番大切な事を誰かに言われることなく子ども自身が考え行動している事に成長を感じます。

きれいな色に染まりました。
玉ねぎの栽培から始まり、収穫、調理、そして染め物余すことなく玉ねぎの魅力を感じると共に、子ども達の知性、感性、友達とのコミュニケーション力、様々な成長を見ることができました。

